

## 2019年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年4月12日

上場会社名 株式会社インターアクション 上場取引所 東  
 コード番号 7725 URL <http://www.inter-action.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 木地 英雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 木地 伸雄 TEL 045-788-8373  
 四半期報告書提出予定日 2019年4月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2019年5月期第3四半期の連結業績（2018年6月1日～2019年2月28日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	5,550	32.0	1,206	77.8	1,180	71.3	764	62.4
2018年5月期第3四半期	4,206	0.9	678	128.5	689	146.6	470	51.4

（注）包括利益 2019年5月期第3四半期 744百万円（52.3%） 2018年5月期第3四半期 488百万円（61.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	80.26	—
2018年5月期第3四半期	49.74	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第3四半期	7,145	4,390	61.4
2018年5月期	6,573	3,682	56.0

（参考）自己資本 2019年5月期第3四半期 4,390百万円 2018年5月期 3,682百万円

（注）「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を2019年5月期の第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年5月期については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2019年5月期	—	0.00	—		
2019年5月期（予想）				15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年5月期の連結業績予想（2018年6月1日～2019年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,158	19.1	1,421	41.2	1,401	41.8	895	30.4	92.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）株式給付信託型ESOP及び株式給付信託型役員報酬制度を導入しており、株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式を含む自己株式数を控除した期中平均株式数により「1株当たり当期純利益」を算定しております。

（注）当社は、2019年3月4日に第10回新株予約権を発行しているため、「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2019年3月31日までの新株予約権の行使状況を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年5月期3Q	10,052,100株	2018年5月期	10,052,100株
② 期末自己株式数	2019年5月期3Q	463,456株	2018年5月期	600,754株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年5月期3Q	9,527,157株	2018年5月期3Q	9,463,712株

(注) 当社は、株式給付信託型ESOP及び株式給付信託型役員報酬制度を導入しており、株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. 2019年5月期第3四半期決算短信(連結)補足説明	10
(1) 受注実績の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、事業セグメントを「IoT関連事業」「環境エネルギー事業」「インダストリー4.0推進事業」に分けて活動を行っております。各セグメントの事業環境は下記のとおりであります。

IOT関連事業セグメントでは、イメージセンサの生産工程における品質検査で使用する検査用光源装置及び瞳モジュールを、イメージセンサメーカー向けに製造・販売しております。

現在イメージセンサ市場では、複数台のカメラを搭載したスマートフォンの普及が進んでいることから、スマートフォンカメラ向けイメージセンサの需要が伸びると予想されております。また、中長期的には自動車の自動運転に不可欠な車載向けイメージセンサの需要も高まってくるとの予想もされております。そのため、イメージセンサメーカーでは生産キャパシティ強化のための設備投資意欲が高い状況であり、それに伴って当社グループの検査用光源装置及び瞳モジュールの販売は好調に推移しております。

環境エネルギー事業セグメントでは、大量印刷を行うための印刷機(輪転機)と一緒に使用する乾燥脱臭装置や、工場向けの排ガス処理装置を製造・販売しております。

印刷機業界は、ITの普及により新規の設備投資は縮小しているものの、輪転機の経年劣化による買換えが毎年一定数発生するほか、定期的なメンテナンス需要が存在しております。現在は競合他社がほぼ存在しないため、当社グループではこれらの需要を安定的に取込み、毎年コンスタントに売上を計上しております。さらに今後は、海外への展開にも力を入れていく予定であります。

インダストリー4.0推進事業セグメントでは、主にディスプレイの生産過程で支障となる振動を取り除くための除振装置をディスプレイメーカー向けに製造・販売しているほか、歯車が設計図通りの形状となっているかを調べる歯車試験機を、歯車メーカー向けに製造・販売しております。

現在フラットパネル・有機ELディスプレイ業界では、生産設備への投資が落ち着いた状況が続いているものの、メーカーの潜在的な設備投資意欲は存在していると予想しております。

また、歯車試験機市場においては、景気変動に左右されるものの、市場規模はほぼ横ばいの状況が続いております。歯車試験機は主に自動車産業向け製品に使用されることが多いため、自動車生産台数の増加が予想される海外での営業活動を強化しております。

これらの事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,550百万円(前年同期比32.0%の増加)、売上高の増加等により、売上総利益は2,557百万円(前年同期比35.7%の増加)となりました。また、販売費及び一般管理費につきましては、人件費や販売手数料が増加しましたが、営業利益は1,206百万円(前年同期比77.8%の増加)、経常利益は1,180百万円(前年同期比71.3%の増加)、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は764百万円(前年同期比62.4%の増加)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

#### (IoT関連事業)

第2四半期連結累計期間に引き続き、当社の主要販売先であるイメージセンサメーカーにおいて、設備投資が活発に行われております。そのため、当社グループの主力製品であるCCD及びCMOSイメージセンサ向け検査用光源装置及び瞳モジュールの販売は好調に推移いたしました。

当第3四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は3,262百万円(前年同期の売上高1,917百万円に比し、70.1%の増加)、セグメント利益は1,591百万円(前年同期のセグメント利益1,047百万円に比し、51.9%の増加)となりました。

#### (環境エネルギー事業)

国内市場では、印刷関連の乾燥脱臭装置や排ガス処理装置の大型工事が第2四半期連結会計期間に集中していたため、当第3四半期連結会計期間は売上が落ち着いた状況となりました。

一方で、中国向け排ガス処理装置の初号機の納入が完了し、海外展開を積極的に推進しております。

当第3四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は852百万円(前年同期の売上高885百万円に比し、3.6%の減少)、セグメント利益は55百万円(前年同期のセグメント利益74百万円に比し、25.2%の減少)となりました。

#### (インダストリー4.0推進事業)

精密除振装置の国内需要は比較的好調であったものの、海外メーカーの設備投資意欲は当第3四半期連結会計期間においても引き続き落ち着いた状況となりました。

また、歯車業界においては、顧客の設備投資意欲はあるものの、米中の関係悪化の影響によって設備投資判断が慎重となっている状況であり、当第3四半期連結会計期間における歯車試験機の売上は落ち着いた状況となりました。

当第3四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は1,435百万円(前年同期の売上高1,403百万円に比し、2.3%の増加)、セグメント利益は65百万円(前年同期はセグメント損失14百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ572百万円増加し、7,145百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ498百万円増加し、5,736百万円となりました。これは、現金及び預金が451百万円、受取手形及び売掛金が218百万円それぞれ減少したものの、電子記録債権が904百万円、仕掛品が235百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ74百万円増加し、1,409百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ135百万円減少し、2,755百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が147百万円、未払法人税等が36百万円それぞれ増加したものの、1年内を含む社債及び借入金で361百万円純減したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ707百万円増加し、4,390百万円となりました。これは、前事業年度の期末配当金125百万円及び自己株式の取得49百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益764百万円の計上や信託による自己株式の譲渡138百万円等によるものであります。

なお、第1四半期連結会計期間の期首から、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を適用しており、前連結会計年度に係る財務数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の財務数値を使用しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年1月11日に公表した「平成31年5月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,253,833	1,801,918
受取手形及び売掛金	1,235,614	1,017,211
電子記録債権	403,011	1,307,791
営業投資有価証券	60,884	53,441
商品及び製品	92,536	178,259
仕掛品	686,350	922,214
原材料及び貯蔵品	440,443	430,592
その他	80,841	66,629
貸倒引当金	△14,846	△41,310
流動資産合計	5,238,670	5,736,749
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	298,804	310,165
土地	169,901	169,901
その他(純額)	166,972	217,076
有形固定資産合計	635,678	697,143
<b>無形固定資産</b>		
のれん	419,949	379,572
その他	55,244	50,307
無形固定資産合計	475,193	429,880
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	30,658	43,465
その他	198,339	243,720
貸倒引当金	△4,737	△4,995
投資その他の資産合計	224,260	282,190
固定資産合計	1,335,132	1,409,214
資産合計	6,573,803	7,145,963

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	482,446	630,256
短期借入金	160,000	100,000
1年内償還予定の社債	90,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	395,524	369,429
未払法人税等	257,548	293,986
賞与引当金	-	35,887
製品保証引当金	9,134	39,186
役員株式給付引当金	141,244	127,092
その他	335,808	303,113
流動負債合計	1,871,706	1,958,950
固定負債		
社債	210,000	150,000
長期借入金	693,505	508,315
株式給付引当金	2,308	2,371
退職給付に係る負債	84,322	90,844
資産除去債務	10,138	10,143
その他	19,356	35,264
固定負債合計	1,019,631	796,939
負債合計	2,891,337	2,755,890
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,982	610,982
資本剰余金	1,570,286	1,570,286
利益剰余金	1,804,372	2,443,462
自己株式	△317,263	△228,336
株主資本合計	3,668,377	4,396,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,049	△1,453
為替換算調整勘定	12,038	△4,867
その他の包括利益累計額合計	14,088	△6,321
純資産合計	3,682,465	4,390,073
負債純資産合計	6,573,803	7,145,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
売上高	4,206,289	5,550,490
売上原価	2,322,511	2,993,387
売上総利益	1,883,778	2,557,103
販売費及び一般管理費	1,205,129	1,350,532
営業利益	678,648	1,206,570
営業外収益		
受取利息	530	963
受取配当金	100	180
貸与資産賃貸料	8,555	9,512
為替差益	1,068	-
持分法による投資利益	2,514	34
受取補償金	16,000	-
補助金収入	7,824	-
その他	5,550	3,641
営業外収益合計	42,144	14,332
営業外費用		
支払利息	14,514	9,149
貸与資産諸費用	9,127	26,696
為替差損	-	2,479
その他	7,816	1,745
営業外費用合計	31,458	40,071
経常利益	689,334	1,180,831
特別利益		
固定資産売却益	-	289
特別利益合計	-	289
特別損失		
固定資産除却損	864	3,589
固定資産売却損	810	-
特別損失合計	1,675	3,589
税金等調整前四半期純利益	687,659	1,177,530
法人税、住民税及び事業税	199,410	426,674
法人税等調整額	17,530	△13,745
法人税等合計	216,941	412,928
四半期純利益	470,718	764,602
親会社株主に帰属する四半期純利益	470,718	764,602



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益	470,718	764,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,652	△3,503
為替換算調整勘定	14,716	△16,374
持分法適用会社に対する持分相当額	516	△531
その他の包括利益合計	17,884	△20,410
四半期包括利益	488,603	744,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	488,603	744,192
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、当社は2018年7月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式28,300株の取得(49,970千円)等を行いました。また、株式給付役員報酬信託から対象者へ164,900株の給付(138,550千円)等が行われました。

この結果、自己株式が88,927千円減少し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は228,336千円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	IoT関連事業	環境エネルギー事業	インダストリー4.0推進事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,917,825	885,117	1,403,346	4,206,289
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	1,917,825	885,117	1,403,346	4,206,289
セグメント利益又は損失(△)	1,047,398	74,821	△14,328	1,107,891

(注) 当第3四半期連結累計期間において、歯車試験機の企画・設計・製造販売を行う株式会社東京テクニカルの子会社としております。

当第3四半期連結累計期間の「インダストリー4.0推進事業」セグメントに含まれる同社及び同子会社の売上高は357,330千円、セグメント損失は14,604千円であります。また、セグメント資産は1,053,727千円増加しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,107,891
全社費用(注)	△417,639
たな卸資産の調整額	△11,604
四半期連結損益計算書の営業利益	678,648

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結累計期間において、株式会社東京テクニカル及び同社の子会社であるTaiwan Tokyo Technical Instruments Corp.を連結子会社としたことに伴い、「インダストリー4.0推進事業」セグメントにおいて225,100千円のものれんを計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	IoT関連事業	環境エネルギー事業	インダストリー4.0推進事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,262,205	852,847	1,435,437	5,550,490
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	798	798
計	3,262,205	852,847	1,436,235	5,551,288
セグメント利益	1,591,496	55,958	65,856	1,713,312

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,713,312
全社費用(注)	△501,965
セグメント間取引消去	882
たな卸資産の調整額	△5,658
四半期連結損益計算書の営業利益	1,206,570

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 2019年5月期第3四半期決算短信(連結)補足説明

(1) 受注実績の状況

受注実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自2017年6月1日 至2018年2月28日)		当第3四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2019年2月28日)		増減	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
IoT関連事業	2,204,170	723,967	4,621,238	1,981,986	2,417,067	1,258,019
環境エネルギー事業	927,827	412,616	834,634	398,773	△93,192	△13,843
インダストリー4.0推進事業	1,420,785	221,981	1,171,850	176,597	△248,935	△45,383
合計	4,552,783	1,358,565	6,627,723	2,557,356	2,074,940	1,198,791

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 上記金額には、見込み生産を行っている事業は含まれておりません。